



日頃から沖縄県貿易協会の活動にご理解ご協力頂き感謝いたします。

この沖貿協レターは、沖縄県の貿易の発展の一助になるよう沖縄県貿易協会会員や関係機関等に向けて各種情報を配信するものです。

===== 目 次 =====

- 1 エッセイ ～さらなる産業振興の発展を目指して～  
(うるま市長 中村 正人 様)
- 2 支援機関等からの新着情報 【補助金・参加者募集など】
- 3 沖縄県貿易協会からのお知らせ
- 4 会員紹介 ～わが社のいち押し～  
(アンリッシュ食品工業株式会社 様)
- 5 連 載 ～健康経営のすすめ～  
(医療法人社団菱秀会 K IN 放射線治療・健診クリニック院長 梁 英樹 様)

=====

- 1 エッセイ ～さらなる産業振興の発展を目指して～  
(うるま市長 中村 正人 様)

うるま市は、「さんごの島」という意味を持つ沖縄の言葉「うるま」から名付けられ、コバルトブルーの海に囲まれた島々、勝連城跡や闘牛、エイサーや現代版組踊「肝高の阿麻和利」など、沖縄独自の芸能・文化が多く残る美しい風景と豊かな環境に恵まれています。

人口も約12万人で県内3番目であり、沖縄県で中核的な役割を担う自治体となっておりますが、平成22年に実施した国



うるま市長 中村正人様

勢調査では、完全失業率が18.2%と深刻な状況下において、中城湾港新港地区・新港地区を拠点とした企業誘致・雇用創は市政においても重要な取り組みの一つとなっております。

新港地区では、沖縄における産業及び貿易の振興に資する地域として、「沖縄振興特別措置法」に基づく「国際物流拠点産業集積地域」に指定され、税制優遇等の支援策により、製造業、倉庫業、卸売業、こん包業などが進出しおかげさまで、約260社が立地し約6,600名余りの雇用者が創出され、県内最大の工業団地になると共に、完全失業率も6.0%（令和2年国勢調査）と大幅に改善しました。現在は、物流や研究開発などに対する支援の他、新港地区内に本市の出張所（サテライトオフィス）を設置するなど、立地企業の様々なニーズに寄り添った支援に取り組んでいます。



- ・中城湾港新港地区まで車で3分（約2km）
- ・沖縄北ICまで車で10分（約4km）

また、現在、新港地区から約2km背後の仲嶺・上江洲地区において、各産業分野と港湾機能が有機的に連携した臨海型産業の集積を目指し、新たに約20ha分の産業基盤整備をすることとしております。引き続き、沖縄県貿易協会と連携を図りながら本市並びに沖縄県の産業振興の発展に向け海外展開する企業の誘致、立地企業のサポートに取り組んでいきます。

## 2 支援機関等からの新着情報 【補助金・参加者募集など】

### 【公募】令和5年度沖縄物流デジタル技術活用推進事業について

沖縄総合事務局では、沖縄県の物流の効率化・迅速化を実現し、労働生産性を向上させることを目的に、AI（人工知能関連技術）やIoT（インターネット・オブ・シングス活用関連技術）等のIT技術を活用したデジタル化に伴う設備導入等に取り組む事業者を募集します。

- ・補助経費：物品費、運送費、消耗品費、使用料、謝金、委託／外注費
- ・補助上限額：2,000万円
- ・補助率：2/3以内
- ・公募期間：令和5年7月31日から8月25日まで
- ・事業詳細・申請方法：<https://okinawa-ric.jp/news/entry/logidigi.html>
- ・問い合わせ先：沖縄物流デジタル技術活用推進事業事務局(沖縄県産業振興公社内)  
担当 田島・新里・上原・足立  
TEL：098-859-6239  
E-mail：logidigi@okinawa-ric.or.jp

**【公募】** <中小企業生産性革命推進事業>「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」(16次締切分)の公募開始について

沖縄総合事務局では、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善(以下、「生産性向上」という。)に必要な設備・システム投資等を支援する「通常枠」、業況が厳しい事業者が賃上げ・雇用拡大の取組に資する生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援する「回復型賃上げ・雇用拡大枠」、DXに資する生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援する「デジタル枠」、温室効果ガスの排出削減に資する取組に応じた生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援する「グリーン枠」、海外事業の拡大等を目的とした設備投資等を支援する「グローバル市場開拓枠」について公募を開始しました。

- ・ 公募期間 公募開始：令和5年7月28日(金) 17時～  
申請受付：令和5年8月18日(金) 17時～  
応募締切：令和5年11月7日(火) 17時
- ・ 補助額(下記以外の枠、補助率も異なりますのでHPでご確認ください)  
通常枠：750万円～1,250万円(補助率：1/2他)  
グローバル市場開拓枠：3,000万円(補助率：1/2他)
- ・ 事業詳細：[https://www.ogb.go.jp/keisan/3842/f\\_00/230731\\_01](https://www.ogb.go.jp/keisan/3842/f_00/230731_01)
- ・ 問い合わせ先：内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課  
担当：仲西・伊波  
電話：098-866-1730(直通)

**【募集】** OKINAWA 外資系企業との交流会 参加企業募集！(参加無料)

沖縄県産業振興公社では、県内に立地した海外企業と県内企業との交流会を開催いたします。海外企業にとっては県内での販路開拓へのヒント、県内企業にとっては海外展開に向けた情報収集やビジネスマッチングのチャンスがあります。

- ・ 日時：令和5年10月18日(水) 13:30～17:00
- ・ 場所：沖縄産業支援センター 1階 大ホール
- ・ 募集期間：  
プレゼン企業：2023年8月15日(火)まで  
一般参加企業：2023年9月15日(金)まで
- ・ 参加費：無料
- ・ 詳細及び申込：<https://okinawa-ric.jp/news/info/okinawa-1.html>
- ・ 問い合わせ先：沖縄県産業振興公社 海外ビジネス支援課  
担当：劉、玉城、小浜  
TEL：098-894-6288  
E-mail：[business\\_s@okinawa-ric.or.jp](mailto:business_s@okinawa-ric.or.jp)

【参加募集】守礼門プログラム 2023「食」の商談会・評価会を開催します！

中小機構沖縄事務所では、沖縄県内に所在する主に食品の企画、製造又は加工する中小企業者等に対して、県外への販路開拓を支援すること及び商品改善に繋がるブラッシュアップの場を提供することを目的として、「守礼門プログラム 2023「食」の商談会・評価会」を開催します。

本プログラムでは、当機構専門家等による商談会・評価会前のスキルアップセミナーおよび個別相談会、商談会・評価会後のフォローアップ支援などの商談会前後を通じた一連の取組により、観光市場以外の新たな市場または販路先における商品の定番化・定着化を狙いとします。

- ・スキルアップセミナー：9月1日(金)14：00～16：30
- ・事前説明会・個別相談会：9月29日(金)14：00～16：30
- ・商談会・評価会：10月27日(金)10：00～18：00
- ・対象者：沖縄県内に事業所を有しており、主に食品を企画、製造または加工し、県外への販路拡大を希望する中小企業者等および個人
- ・バイヤー：沖縄県外においてこだわり商品を取り扱う百貨店、小売、卸売、通販等の企業または個人（13社程度を想定）
- ・参加料：無料
- ・申し込み期限：8月18日（金）
- ・申し込み先：  
[https://www.smrj.go.jp/regional\\_hq/okinawa/event/2023/ool3bn000000dpt3.html](https://www.smrj.go.jp/regional_hq/okinawa/event/2023/ool3bn000000dpt3.html)
- ・問い合わせ先：中小機構 沖縄事務所（担当：城間、蔵元）  
TEL：098-859-7566

=====

### 3 沖縄県貿易協会からのお知らせ

【ご案内】令和5年度「沖縄型産業中核人材育成事業」デザイン思考による海外マーケティング戦略策定講座開講について

サプライヤー・ものづくり側の人材及びデザイナー・IT・デジタル人材を交えた海外マーケティング戦略策定講座開講（全11回コース）を下記日程により開講しますので、協会会員については、傍聴席を設けておりますので、希望される方は、協会事務局までご一報ください。

◆サプライヤー・ものづくり人材向け講座日程

NO	カリキュラム	開催予定日・会場	講師
1	オリエンテーション パーパス経営の視点等	8月24日(木)13:00-17:00 (那覇市 IT 創造館)	(株)野村総合研究所 坂口 剛 氏
2	ビジネスモデルの創出 第3回目までの課題説明	9月7日(木)13:00-16:00 (那覇市 IT 創造館)	(株)野村総合研究所 坂口 剛 氏

◆デザイナー・IT・デジタル人材向け講座日程

NO	カリキュラム	開催予定日・会場	講師
1	オリエンテーション 輸出に関する基礎講座	8月21日(月)13:30-17:30 那覇市職員厚生会館 (みずブラスサ)	(株)萌す後藤大輔氏 マリンポートパートナ ーズ(株)今川雄太氏
2	海外と日本の生活や消費 行動の違い 第3回目までの課題説明	9月8日(金)13:30-16:30 那覇市職員厚生会館 (みずブラスサ)	(株)okicom 小渡晋治氏 氏マリンポートパート ナーズ(株)今川雄太氏

◆両人材共通の講座日程

NO	カリキュラム	開催予定日・会場	講師
3	チームビルディング 海外マーケティング概論	9月14日(木)13:00-17:00 (那覇市 IT 創造館)	アクセントチュア(株) 小栗史也氏
4	海外マーケティング戦略 の策定	9月19日(火)10:00-13:00 (那覇市 IT 創造館)	(合)ブランドスケープ 井上俊彦氏
5	海外バイヤーとの模擬商 談及び現地消費者等への リアルマーケティング	10月中下旬 (3泊4日) (台湾予定)	—
6	国外研修を踏まえた課題 とその対策を作成・発表	10月第4週 (未定)	マリンポートパートナ ーズ(株)今川雄太氏
7	海外でのデジタルマーケ ティングの実際	11月第2週 (未定)	マリンポートパートナ ーズ(株)今川雄太氏
8	海外マーケティング戦略 の整理、策定①	11月第4週 (未定)	—
9	海外マーケティング戦略 の整理、策定②	12月第1週 (未定)	—
10	受講生間での最終発表会	令和6年1月第2週 (未定)	—
11	成果報告会	1月第4週 (未定)	—

4 会員紹介 ～わが社のいち押し～

(アンリッシュ食品工業株式会社 様)



～冷凍食品の新しい価値の創出～

近所のスーパーやコンビニの冷凍コーナーには、枝豆やホウレンソウなどの野菜から、ピザやお弁当などの主食まで、幅広い商品が並んでいます。冷凍食材は、解凍すればすぐに食べられるため、忙しい人や料理が苦手な人にとって便利な食材です。また、冷凍食材は栄養価も高く、保存期間も長いため、食費を節約したい人にもおすすめです。冷凍食材の市場は、国内のみならず海外でも消費者ニーズに合致し、世界の冷凍食品市場規模は約24兆円と今後とも成長が期待される分野です。





アンリッシュ食品工業株式会社は、プロトングループで冷凍食品の新しい価値を創出し“自宅でも美味しいシェフの味を“・”素材の美味しさや食資源の有効活用を大切に“をキャッチフレーズに沖縄県うるま市に拠点を置く食品製造事業と食品加工機器製造事業を沖縄からアメリカ、ヨーロッパ、アジアへ世界展開する会社です。日本中から独自のプロトン凍結技術で凍結し集めた素材を沖縄で解凍、再調理して出荷しています。併せてプロトン凍結機及び解凍機の製造販売も行っています。



クリアな包装で  
美味しさ丸見え!!

冷凍食品を生み出すプロトン凍結機・解凍機の特徴は、解凍時に食材の細胞が崩れうまみ成分が抜けることで味が落ちるのを最小限に抑える画期的な装置です。これにより、鮮度が命といわれる寿司も、職人の握りたてを保持したまま輸送でき、お客様の元まで届けることができます。また、お客様の



定番ピザを紹介する大城様



の要望を捉える商品開発、手間をかけた生産技術や品質力、行き届いた衛生管理能力をもとに「食の安全・安心」と「付加価値ある商品・サービスづくり」の両道を実現し、冷凍された食品の新しい価値を創出し世界に届けています。

調理人が調理場で腕を振るう時代から工場で振るう時代へ、そして人間の細胞もプロトン凍結して再生医療現場で医師がチンして多くの人の救うような時代が到来するかもしれません。

#### □担当のからひとこと

沖縄から、世界を目指す企業として、琉球ホット ～ 南国生まれの本格旨辛中華の冷凍食品 ～を開発しました。「美味しさ×辛さ」「沖縄×中華」を融合し家庭調理で難しいプロの味をご自宅で簡単に再現することを目指し、ひとつひとつ手作業で丁寧に気持ちを込めて調理した今までにない"冷凍中華惣菜"ですので是非ご賞味ください。



琉球ホット HP

\*\*\*\*\*

□名称：アンリッシュ食品工業株式会社 <https://efm.proton-group.net/about/>

□代表者：代表取締役 二宮大朗 様

□担当者：生産管理部 大城勝則 様

□所在地：沖縄県うるま市勝連南風原5 1 9 2 番 3 9

□電話：0 9 8 - 9 3 9 - 9 0 5 6

～マメ知識～

プロトン凍結とは、菱豊フリーズシステムズ社製「プロトン凍結機」（プロトングループ）で凍結(冷凍)されたものを言い、急速凍結の環境下に均等磁束と電磁波を加えて凍結することで、食品・食材の鮮度や食感、風味を維持する冷凍技術です。

従来の冷凍方法で課題となっていたドリップや離水による食品・食材の品質低下を防止するため、次世代の冷凍技術として自社開発しています。「プロトン」という名称は、水素陽イオンをプロトンと呼ぶところから愛称として採用しています。

※急速凍結とは、食品・食材の温度が最大氷結晶生成温度帯(0℃～-7℃くらい)をより早く通過させて凍結を行う冷凍方法です。



凍結機

解凍機

5 連 載 ～健康経営のすすめ～

(医療法人社団菱秀会 KIN 放射線治療・健診クリニック院長 梁 英樹 様)

前回は、企業にとっての財産である従業員の健康を守ることが大切と紹介しましたが、今回は、健康経営の意義、健康経営優良法人についてご紹介します。

「健康ですか？」と聞かれ、「持病があって」、「血圧が高い」とか、身体的なものを思い浮かべることが多いと思いますが、世界保健機関（WHO）憲章で「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義されております。

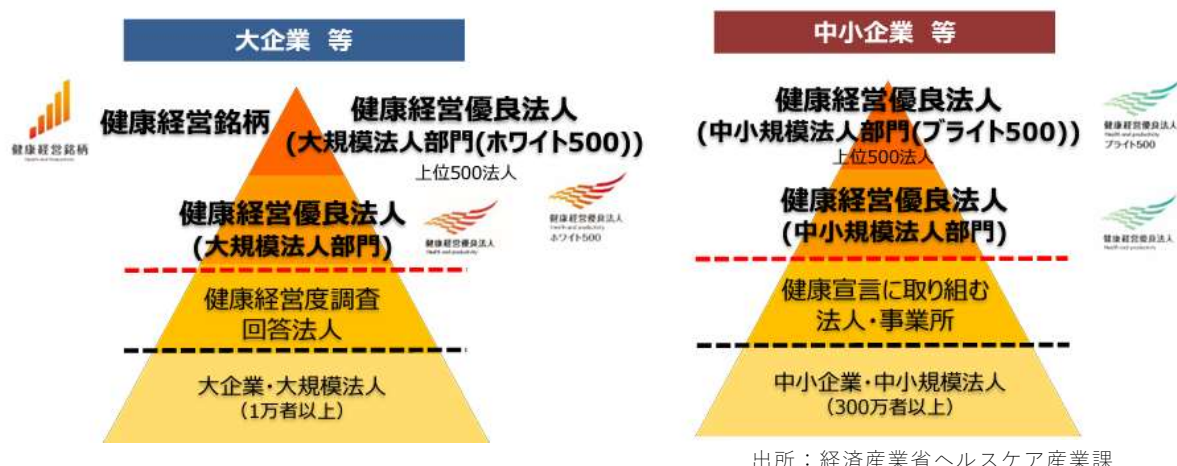


表面上の病気でなければいいというものではなく、肉体的にも、精神的にも、更には社会的に見ても、全てが良好な状態でなければ、健康とは言わないということです。

一方の「経営」とは、会社を持続的に成長させる活動といわれ、社会における経営のありかたと企業内部における経営のありかたが大切とされています。

健康と経営を組み合わせた「健康経営」は、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。日本再興戦略、未来投資戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に関する取り組みの一つとして経済産業省が進めている施策です。

具体的には、健康経営に係る各種顕彰制度として、平成 26 年度から「健康経営銘柄」の選定を行っており、平成 28 年度には「健康経営優良法人認定制度」が創設されています。



健康経営優良法人認定制度には、大規模法人と中小規模法人部門が設けられ、大規模優良法人の方針は、優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することとし、また、グループ会社全体や取引先、地域の関係企業、顧客、従業員の家族などに健康経営の考え方を普及拡大していく「トップランナー」の一員としての役割を求めています。

一方、中小規模法人部門においては、個社に合った優良な取組を実施する法人を積極的に認定することで、健康経営のすそ野を広げるツールとしている。中小規模法人に対しては、引き続き自社の健康課題に応じた取組を実践し、地域における健康経営の拡大のために、その取組事例の発信等を行う役割を求めています。

健康経営に取り組む意義として、特定健康診査実施率、有給休暇取得率・取得日数が、全国平均より高い傾向がみられる。また、離職率について全国平均の 10.7% に比べ 5% と低い傾向にあるのも特徴です。就職活動をする学生に勤務条件で従業員の健康や働き方に配慮している企業を選ぶ傾向が高くなっています。

健康経営優良法人認定は、経営トップのコミットメント、健康経営の戦略的計画、健康経営の取組状況の評価、健康経営の取組結果の公表、法令遵守・リスクマネジメントの取り組みを認定基準として定めており、2023年の中小規模法人部門の都道府県別認定状況（全国 14,014 社）では、大阪(1,831 件)、愛知の認定数が多く、沖縄県は 47 件から 75 件と 1.6 倍に増加しているものの、全国最下位となっており長寿復活の観点からも取り組みの強化が望まれます。対して沖縄労働局と沖縄県等が取り組む「うちなー健康経営宣言」(1,445 社)は、経営トップ自らが健康経営に取り組むメッセージを表明していただき、事業場の取組事項を「見える化」する取り組みを実施しています。宣言後は、健康課題を克服するための支援メニューの提供を受けることができますので宣言してみても如何でしょうか。





今回は、従業員の健康管理、健診・検診等の活用についてご紹介します。

◇健康経営を深く知りたい方は、経済産業省HPをご覧ください。

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/kenko\\_keiei.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_keiei.html)

---

梁 英樹（りょう ひでき）氏 経歴

埼玉県出身、2020年からKIN放射線治療・健診クリニック院長、1980年東邦大学医学部卒業、自治医科大学医学部麻酔科、東京女子医科大学消化器外科にて研究に従事。以来40年、外科医人生を歩む。

胆道と膵臓を専門に県内のハートライフ病院でも外科臨床に携る。

医学博士、産業医、日本外科学会専門医、指導医、日本消化器外科学会専門医、指導医、乳癌学会認定医、麻酔科標榜医

---

医療法人社団菱秀会 KIN放射線治療・健診クリニックは、最新鋭の医療機器を揃え、高精度の健診サービスを提供メディカルツーリズム（国内外）に尽力しています。

KIN放射線治療・健診クリニックHP：<https://www.kmc.or.jp/medical-okinawa/>



---

#### マメ知識

健康経営の始まりは、アメリカにおいて1992年に出版された「The Healthy Company」の著者で、経営学と心理学の専門家、ロバート・H・ローゼン（Robert H. Rosen）が提唱したことによるとされている。～Wikipediaより～

当協会会員では、大同火災海上保険(株)、(株)琉球銀行、沖縄セルラー(株)、(株)沖縄銀行、琉球通運(株)の5社が健康経営優良法人に認定されております。また、ひやみかち健康経営宣言では、(株)湧川商会、那覇青果物卸事業協同組合、大同火災海上保険(株)、(株)あんしん、(株)ジェイシーシー、琉球海運(株)、(株)沖縄銀行、沖縄セルラー電話(株)、(株)琉球銀行、北部港運(株)、琉球通運(株)、那覇商工会議所、浦添会議所が宣言しています。

=====  
8月号発刊にあたり、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。  
沖貿協レターに掲載して頂きたい情報があれば、担当者までご連絡ください。  
=====

☆沖縄県貿易協会は、沖縄県の貿易の振興と地域経済の発展に貢献します！！

☆貿易に関する相談、各種事業についてお気軽にお問い合わせください！！

一般社団法人 沖縄県貿易協会 担当 大城・伊礼

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 2-11-13 新垣通商ビル 2 階

TEL : 098-866-9183 FAX : 098-866-9219

E-mail : [info@okinawa-trade.or.jp](mailto:info@okinawa-trade.or.jp)

URL : <https://okinawa-trade.or.jp/>



沖縄県貿易協会 HP